

平成30年度第3回新城市市政モニターアンケート調査結果

アンケート実施期間 平成30年12月3日(月)～12月20日(木)

回収率 94%(94人/100人中)

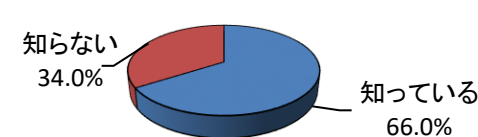
(%は小数点第2以下を四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。)

テーマ1 ザイセイの話について

市民のみなさんに私たちのまちの財政状況をありのままにお伝えするため、過去5年間の財政状況の推移や予算の内容、市の予算を家庭の家計簿に例えたものなどを掲載した冊子「ザイセイの話」を毎年秋に発行し、市内全世帯へ配布しています。

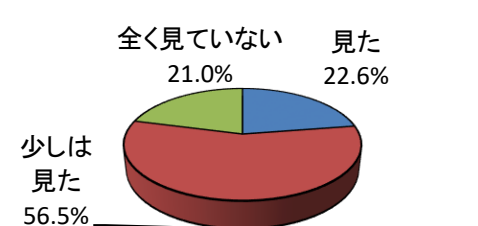
Q1 毎年発行している「ザイセイの話」を知っていますか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
知っている(Q2へ)	62	66.0%
知らない(Q5へ)	32	34.0%
計	94	100.0%



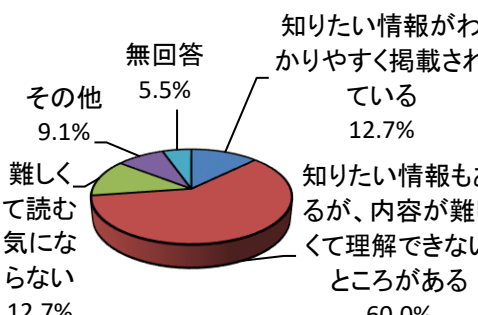
Q2 11月1日発行の平成30年度「ザイセイの話」をご覧になりましたか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
見た(Q3へ)	14	22.6%
少しは見た(Q3へ)	35	56.5%
全く見ていない(Q4へ)	13	21.0%
計	62	100.0%



Q3 ご覧になった印象(感想)はいかがですか。(複数選択可)

項目	回答数	割合
知りたい情報がわかりやすく掲載されている	7	12.7%
知りたい情報も掲載されているが、内容が難しく理解できないところがある	33	60.0%
難しく読む気にならない	7	12.7%
その他	5	9.1%
無回答	3	5.5%
計	55	100.0%



【その他】

- ・情報が探せばある。
- ・きっかけがないと読む気がしない。
- ・毎年ザイセイの話を見ているが、何ページか見ると細かすぎて読む気にならない。皆が解るように、簡単にまとめていただきたい。
- ・知りたい情報も掲載されているが、あまり興味はない。
- ・しっかり理解したいが、時間がかかってしまうので、2～3ページで終了という感じ。

Q4 Q2で「全く見ていない」と回答された方にお聞きします。全くご覧になっていない理由は何ですか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
読む時間がないため	6	46.2%
難しそうで読む気がしないため	4	30.8%
興味がないため	2	15.4%
その他	1	7.7%
計	13	100.0%

【その他】
・手元に無い為。

Q5 皆さんにお聞きします。市の財政状況について、あなたが興味があり詳しく知りたい情報は何か。(複数選択可)

項目	回答数	割合
予算・決算	26	11.0%
市税等の収入	28	11.8%
借入金(借金)や基金(貯金)	30	12.7%
予算の使い道	74	31.2%
今後の財政状況の見通し	39	16.5%
他市との比較	30	12.7%
興味がないので特に知りたい情報はない	8	3.4%
その他	2	0.8%
計	237	100.0%

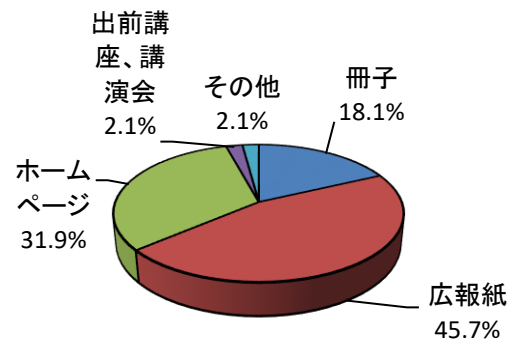
【その他】
・赤字と黒字
・子ども達へかける教育についてのお金

Q6 皆さんにお聞きします。市内全世帯への「ザイセイの話」の冊子配布は必要であると思いますか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
必要である	42	44.7%
不要である	48	51.1%
無回答	4	4.3%
計	94	100.0%

Q7 皆さんにお聞きします。市の財政状況や予算についての広報は、どのような媒体で行えばよいと思いますか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
冊子	17	18.1%
広報紙	43	45.7%
ホームページ	30	31.9%
出前講座、講演会	2	2.1%
その他	2	2.1%
計	94	100.0%



【その他】

- ・自治区の組数分を配布し、回覧とする。その後は、自治区に保管すると良いのでは。
- ・中学高校で授業内での講演会

Q8 市の財政状況や予算についての情報をより分かりやすい内容にするためには、どのような改善が必要だと思いますか。(自由記載)

- ・分かりません。
- ・ちゃんと紙に記載することかと思う。広報紙にも難しい言葉を使わず、中学生くらいからでも見てわかるようにしないと、見る気が起きない。
- ・大まかな収支を冊子等で配布し、より詳しいことを知りたい人は、市のホームページへ誘導で良いのではないのでしょうか。
- ・興味がないので、何とも言えない。市の財政について正直全く期待してないし、市民の意見は何も通らないと思っているので、知りたい人だけが知ればよいと思う。
- ・「広報ほのか」のように、工夫された色使い、レイアウトの冊子がよいのではと思います。市民に、「みなさん 知りたくない??」「知りたいでしょ??」というような働きかけ。市民も、財政や予算が『自分事』になるといいなと思います。
- ・ホームページ内で簡潔にした情報を、誰でも閲覧できるようにする。
- ・正直、サイセイの話というものを知らない。もっと広める(目にとまる)活動をした方が良い。
- ・子ども(小学生)でも理解できる文章で書く。
- ・今までにあったように市を“世帯”で例えるとわかりやすかったです。
- ・地域の小学生が、身近な時事問題として理解できるような表現。
- ・ネットを使う人は冊子を見ない。ネットを使わない人は冊子を見る。見たくなるように、わかりやすく簡潔に書いてもらえると、若者にもわかりやすく伝わるのではないか。存在自体知らない人も多いと思うので、成人式など集まりがある時に配るなど。
- ・各世代別に一番関心のありそうな予算について、少し詳細に内容を記載するようにしてみる。
- ・「ほのか」に載っていれば見ると思う。冊子にしても読まないと思う。
- ・HPをわかりやすく作る。
- ・小中学生にも理解できるか聞いてみては? そのくらいが「わかりやすい」といえる。
- ・言葉をわかりやすくする。わかりやすい例を使って、身近なことをする。
- ・市のHPに載せてみては?!
- ・色が単調で読みにくい。円グラフなどで若者にもわかりやすく。
- ・マンガのような感じにするとか?
- ・広報紙の中で「サイセイの話」を入れてもらえると、月単位で見られて、1つの冊子となっているより目を通しやすく、読みやすいのではないかと思います。
- ・他の市を参考にする。
- ・情報を本のように一気に出すのではなく、小まめに、その都度出してほしい。

- ・以前と比べて冊子の内容はわかりやすくなったと思います。HPでも見る事ができるし、必ずしも各戸配布でなくてもいいのかもと思いました。
- ・絵、グラフで比較。
- ・今まで「ザイセイの話」を拝見したことがなく、申し訳ありませんでした。市民に公表していただいている媒体となっていると思うので、しっかりと拝見します。「ザイセイの話」の存在をしっかりとPRしていただいて、市民に見ていただくことで、分かっていたかと思いますが。
- ・本当の事をありのまま公開してほしい。
- ・家計簿のようにしていただけるとわかりやすくなるのではないのでしょうか。何に使われたの？と思う項目が多い気がします。税に携わらない人がわかりやすくしてくれると良いと思う。わかっている人が作るの、自分たちはわかっても、わからない人の方が多いと思います。
- ・ホームページなどパソコンを使わないので、冊子という形で手元に届くとしっかり読まないが、「ザイセイの話」は知っていたし、少しは読んで財政について興味も出てきました。「ザイセイの話」は、私にとって必要だと思います。
- ・全ての分野を対象とすると、範囲が広すぎて把握しきれないので、子育て世帯に関する事、医療費に関する事等項目を狭め、関心の持てるものから伝え、より市政に興味関心を持ってもらえるようにするのはどうでしょうか。
- ・報告会を開き、市側からの報告、市民からの生の意見を聞く機会を設けてください。
- ・私はあまり冊子を読まないで、どのような改善をしたらよいかのわかりませんが、主人は読んでいます。女の人も興味がわくような表紙、見出しにしたり、目から入れるよう写真、アニメなどで、財政のことを身近に感じられるようにしたら？(もうしていたらスミマセン)
- ・見てすぐわかること。グラフのような。
- ・読まない人には(私もですが)マンガでわかりやすく(一部でも)してはどうでしょうか。
- ・情報をわかりやすい内容と前にも、財政・予算の決め方が、市民の知りたいという気持ちを失わせていると思います。市役所に30億という希望(市民の)を40億にしてしまい、しかも、市役所にかける前に駅の改善、病院の機能改善を！という要求は、まだできていません。“ただ安くしろ！”という市民の意見はわかってないからだ、という人達がありますが、市民が言っているのは、まず、やらなければならない所に予算を使ってほしいと言っているだけです。病院に医師がいないという事は、市民の命を守れないという事です。そういう納得のいかない内容の情報を見たいと思いません。内容の問題だと思います。
- ・「ザイセイの話」は、知りたい情報がわかりやすいので、内容を改善する必要はないと思います。
- ・ザイセイの話という表題から、とっつきにくさを感じます。
- ・何を説明したいのか、そのキーワードとなる部分をアンダーラインか太字で表示したらどうか。
- ・“新城市の家計簿”のようなわかりやすいやり方は良いですね。
- ・専門的知識を持っておられる方は、この内容で理解されると思いますが、失礼な言い方かもしれませんが、一般的にはこの内容では難しく、最後まで見られる方は少ないと感じます。(自分の含めてですけれど・・・)もっと簡略化されても良いのではないのでしょうか。詳しい内容が知りたい場合は、閲覧できるよう工夫するなどをして、活用して(知って)もらえば良いと思います。
- ・内容が豊富でメニューが多く、資料が多量になるので、もう少し簡素化したらどうでしょうか。
- ・冊子でこれだけの枚数が必要なのだから、配るだけでなく分かりやすい説明があればと思います。
- ・例を挙げて、もっとわかりやすく。特に、使い道とか。
- ・もっと見やすくする(一般向けにはもっと簡素化)できないか。資料編の一部分の文字が、小さく長々と列記してあるが、大部分の人(特に高齢者)は、ごく一部しか見ないと思う。見るのがイヤになる。
- ・財政予算は、高齢につきあまり必要ない。簡潔にしてほしい。
- ・所々に例題を挙げて記載する。
- ・同規模の市町村の全国平均との比較
- ・難しい情報をたくさん載せられても理解するのが難しいので、浅くてもいいので、重要な部分を簡単にまとめて説明してほしいです。
- ・必要最低限でいいと思う。

- ・現状のものを観ていないですが、実際に何に使う予定かを細かく入れたらどうでしょうか。
例えば学校修繕費：〇〇小学校トイレ老朽化の工事
道路工事：国道〇号線アスファルト工事
など。自分の身近に関わるものでないと興味を持たない人も多いと思うので、分かりやすさも大事ですが見てもらえるようにすることも大事だと思います。
- ・分かりやすい言葉で詳しく記載してもらうこと。
- ・パネリストを迎えてのフォーラム等。
- ・詳しく書いてあっても、見る人はあまりいないのではないかと思う。
数値もおおよそでいいと思うし、見た目でわかりやすいように簡単にグラフでいいかと思う。
- ・22、23ページがわかりやすい。これ、広報に載せたら？
- ・文字ばかりの情報では読む気もなくなってしまうため、わかりやすく図解を多くして示したり、あるいは重要な箇所は4コマ漫画のような読み安いイラストや絵などで示すとより理解が深まると思う。
- ・市役所に 分かりやすく展示する。お年寄りに 分かりやすく。
- ・興味を持ってもらえる記述方法を検討すべきで、身近な問題であることをわかりやすくする。
- ・広く市民に知らせるという意味では「サイセイ」は有用だと思うしグラフの多用などわかりやすくするための工夫がされていると思う。市役所ホームページや市役所内掲示板の活用をされてはどうか。(既に実施済みならば申し訳ありません)
- ・以前NHKで放送していた、週刊子供ニュースのような小学生でもわかる、わかりやすくしたら、みんなが興味をもって来ると思う。あの番組は肝心の子供より、教養ある大人でしかわからないような、ニュースでも何の知識がない人でもわかる。そして、興味を惹く内容になっていた。でも、終了して、池上さんが別の番組でわかりやすく解説をしてる。これを参考にしたら。

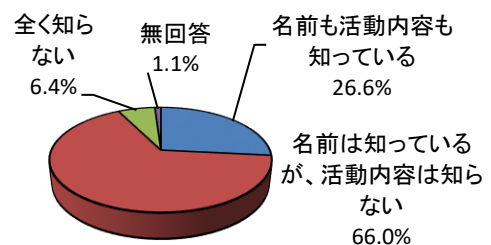
テーマ2「若者議会について」

新城市は、「若者が活躍できるまち」を実現するため、若者議会条例に基づき、今年度5月から25名の若者(おおむね16歳からおおむね29歳まで)により、第4期若者議会が始動しています。そこでは、若者目線で若者政策に資する予算の使途を議論し、まちづくり政策を練り上げ、11月に市長に答申したところです。

今年度の目標は「市民に必要とされる若者議会」を掲げ、市民の方から応援されるだけでなく、市民の方に若者議会は新城市に必要だと思ってもらえるように日々活動を行っています。

Q1 あなたは若者議会についてどのくらいご存じですか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
名前も活動内容も知っている	25	26.6%
名前は知っているが、活動内容は知らない	62	66.0%
全く知らない	6	6.4%
無回答	1	1.1%
計	94	100.0%



Q2 1年間の若者議会の活動を経験した若者は、考え方や人間関係が広がったり、人前で堂々と話せるようになったりするなど、人間的にも精神的にも大きく成長します。あなたのご家族やお知り合いの若者の方に若者議会委員への応募を勧めたいと思いますか？(1つ選択)

項目	回答数	割合
ぜひ勧めたい	5	5.3%
どちらかという勧めたい	46	48.9%
どちらかという勧めたくない	4	4.3%
絶対勧めたくない	2	2.1%
分からない	36	38.3%
計	94	100.0%

【理由】

- ・成長できると思うから。
- ・活動内容を把握してないから。
- ・得られるものと、内容、成果がいまいちよく分からないから。議会に出られる人は、もともと話すことが好きなのは？
- ・参加してマイナスになることはないと思うので。
- ・本人が希望すれば、そうすればよい。
- ・自発的にやりたいという人には勧めるかもしれないけど、活動内容がよくわかっていないので。
- ・該当する年齢の知り合いや、いてもこういう事に興味のある人は、周りにはいません。
- ・いじめの対象者等が入っていそう。ださい。歴女？ヲタク？
- ・何をしているのか、よく分からない。
- ・若者議会委員が何なのか分からない。
- ・参加したい人間が、自主的に参加すべきと思うから。
- ・知り合いのお子さんが参加されていて、いろいろな考えを話してくれました。しっかり考えていてびっくりしたし、新城の若者が頼もしく思えました。本人が興味があれば勧めたい。
- ・本人がやりたいと言えれば応援するが、こちらから勧めることはないと思う。
- ・近くに住んでないから。
- ・26歳の娘がいますが、自分からやりたいと思えば、良い勉強になると思います。
- ・活動内容を知らないのでわかりません。
- ・他人の考え方を聞くことも大切だと思う。
- ・自分あまり関心がないという事もあるかもしれませんが、活動結果成果が伝わってないような気がします。勧めるという事ではなく、自ら進んで参加する意欲がある方が適しているのでは…。
- ・近隣に若者がいない。
- ・活動をよく理解していないので、回答しづらい。
- ・自分が若者議会委員経験者でいい経験になったと感じたため。
- ・どんな活動をしているのか知らないの。
- ・活動内容がよくわからない。
- ・新城の若い子達が頑張っているのはすごいと思います。ただ、人前で活動することには大きな責任がつかますし、そういうのが苦手な人もいます。安易に勧めることはできません。
- ・本人がやりたくなければ意味がないかなと感じるので。
- ・やる気がある方にやってもらえたらいいと思うのでよくわかっていない私から勧めることはできません。
- ・どういったことをしているか、詳しく知らないから。
- ・いろいろな活動に参加することは、いいことだ。
- ・若者が市政や議会に興味を持って参加することは、市の今後に大きな影響があると思うから。
- ・新城市について考え行動しているので、地元をもっと好きになってくれると思うから。

- ・そもそも、若者議会に参加しなくても成長は出来るし、本人次第だと思う。
- ・前に述べてあったように、人間関係の広がりや、市についての見聞の広がりなどで成長が望める為。
- ・やはり個々で感じ方が違うから、勧めたくない。
- ・今後の良い経験になる。
- ・若いうちからいろいろな意見を交わすことは人間形成のための大きな力になる。また新城市をよりよくするためにはどうすべきかを考え行動する若い力が育つのは好ましいと思う。
- ・若い人たちに何を期待しているのですか？若い人達はまだ社会の全体像を知らないなので、何でも言えるのですが、私たちは社会の裏の部分をしてっているので、思い通りにはならないのでしょうか。
- ・広く多くの意見の収集やその手順を身に着けて欲しい。
- ・新城市の将来を背負う世代だから。

Q3 市民の方に“若者議会は新城市に必要だ”と思ってもらえるためにはどうしたらいいと思いますか？ご意見やご助言等あれば教えてください。

- ・若者議会での活動に特化した冊子を配布したらどうか
- ・あまりどういふことを行っているのかがわからない。何か良い方向に動いているのかも全然知らない。
- ・活動内容と必要性をもっと知らせる。
- ・一般市民に分かるところで実績を残していく必要があると思います。私の場合、若者議会の存在は聞いたことがあるが、活動内容は知らないため。
- ・テーマがその年で少し決まっていると良いと思う。Ex.なぜ新城市に子どもが増えないのか、とか、テーマがあって人を集めて、話し合う方がわかりやすく、話し合いのゴールが見える。それをうまく市民に知ってもらおうと、見方が変わるかも。SNSばかりはダメ。見ない人の方が新城は多いから。
- ・何を行っているのか、市民へアピールができていないと思う。“必要”以前に、何を行っているのか知ってもらう必要があると思う。
- ・わかりやすい活動。せっかく若者が活躍しているのだから、市政に興味を持っていない若者に向けた活動をしてはどうか。
- ・16～29歳の議員ではありますが、高校生と大学生の割合が多いのが現状です。それはそれで良いのですが、『高校生や大学生の“部活動”“サークル活動”』くらいの位置づけで見られているのではないかなあと感じる場合があります。今後、新城市議会と若者議会は連携して市政を考えていく時代になっていくこと、その大切さを多くの人に知ってもらいたいです。若者議会の活動の中身がもっとオープンになること、発信すること、目的・目標などの考え方を伝えること、これらによって市民の方にもっと知ってもらうことが必要なのかなと思います。「未来の新城市を担う人間が育つ場」としての若者議会なら“新城市に必要だ”と私は思うのですが、そういう風に多くの市民の方にも思ってもらえたらいいですね。
- ・もっと市民に深く根付いた活動をしては？広報などによれば、委員の方々はとてもがんばっておられるようですが、実際こちらの生活には何だか無縁で、全く別の一部の人たちだけの活動のように見えます。新城市を盛り上げようとなされているようですが、ここ最近8/12に「盆ダンス」というのを開いておられますが、こちらの地域も自分が生まれるずっと前から同じ8/12に盆踊りをやっています。ですから行けません。地元の盆踊りでさえ踊る人が年々減って盛り上がりがないからと、別のものも始めてしまって、そっちの見学者の方が増え、当の盆踊りを踊る人はさらに減り、本末転倒状態です。話がそれてすみませんが、こういう小さい集落、地域でさえ年々つまらなくなっているし、伝統行事の（お祭り等）人手不足に困る地域もあると聞きます。そういうのに、目を向けてください。
- ・若者議会で出た意見が反映されると、必要と思ってもらえると思う。中学生議会を含めて、予算をつけて反映されたものを、大々的にアピールする。
- ・ホームページ内で掲載できる議会か否か。2chの裏側では？いじめでは？（存在・継続が）
- ・市民に若者議会自体をもっと知ってもらえれば、必要だと思われると思う。活動はいいんじゃないかと思う。
- ・積極的な子ほどこういった若者議会に参加しやすいと思うが、そうではない色々な人も参加しやすいようにしてはどうか。
- ・意見を実際に実施したり、その効果が出てくると良いと思う。
- ・多くの市民より「共感」を得ること。

- ・市のイベントで広報したり、実績報告をする。
- ・従来の提言に対しての対費用効果の実績を公表する。
- ・現若者「高校生」「中学生」の授業で取り上げてもいいと思う。千郷中の授業参観でやっていたので面白かった。子ども達は、真剣に新城の未来について考えていた！
- ・何らかの結果を出す。
- ・改善が見える形で市民に知らせる。
- ・若者議会をやっているのを知っているが、何をしているのかわからない。インターネットを通じてもわかるが、活動内容を市の施設などで紹介していくのも必要では？！（インターネットを使わない人たちもいるので）
- ・中学校や高校で若者議会を話題にする。
- ・若者議会からの取り組みで、変わったところ良くなったところを、アピールしていくことが大事だと思います。
- ・活動を多くする。
- ・若者議会の内容を、市は考えておくではなく、即実行する。
- ・他人まかせ、行政におまかせ・・・やってくれるだろうではなく、若いうち（児童や生徒も）から、今、自分が暮らしているまちが、より暮らしやすくなることを“考える場”、若者らしい発想力と、それを実行することでプレゼンカ（人前で発表することも含めて）も高められるのは、今の子どもや若者にとっても、良い勉強の場になると思う。
- ・若者議会で決議したこと（事業）が素晴らしいと市民に評価してもらうのが大事なことと思います。実績こそ重要だと思います。
- ・若者議会に参加した若者たちに話を聞いたり、その親御さんの話を聞くと、皆「参加してよかった」と言っていた。若者たちが自分の住んでいる町が「もっと良くなるために何をすべきか？」と、真剣に考え行動している姿は、素晴らしいと思う。大人たちはどうか？と考えさせられた。
- ・議員だけでなく、今後の新城を盛り上げるためには、若者の自由な発想も大切だと思うので…。若者議会から議員が出られたように、新城を良くしたいと思う若者が増えることは、良い事だと思うから。
- ・もっともっと、TVなどメディアを使って若者議会を取り上げて、参加者たちの意見を聞かせたいと思います。
- ・市の職員の人の手伝いになっていると聞いたことがあり、ほんの一握りの子たちの集まりになっているのでは。
- ・声かけ。
- ・若者議会に参加している人のツイートを見たら、その内容に？この人が参加している若者議会に疑問を感じた。一人一人の資質が大切かと感じた。若者議会から市議になった方もいるので、真剣な取り組みを見ていきたいと思っています。
- ・报告会など、アピールする場を設ける。
- ・広報で活動の様子など目にするにはあるが、実際の活動を見たことがないので、もっと市民の目に触れる活動を。（私が知らないだけかもしれませんが…）
- ・活動内容を知りたい。
- ・内容が違いますが、市内に30歳以上の独身の男性が多いです。若い人たちが男女を問わず知り合える場所があれば、良いなと思います。
- ・例えば、広報紙で毎月1ページ程使用して、活動の報告をするなど、若者議会のPRをする。
- ・成長した若者が、働く場所が必要。
- ・未来、住みやすい新都市にするには、若者の力が必要だという事を、もっとアピールし発信してください。
- ・今もやっているが、広報等で情報を出していくことが大事だと思います。
- ・委員の方がもっと区、市の行事に積極的に参加して、若者をアピールしたらと思います。
- ・若者に媚びている感じがして、高齢者には好感が持てないと思えるし、なぜ必要なのかも理解できません。
- ・「若者議会」の内容が広報に載っていて、大変活発的にやっている様子がわかります。なかなか、高齢者には傍聴に行く勇気がありません。もっと気軽に行けるといいのですが。
- ・小学生、中学生の時に、現実の議会見学などを（2回以上／年）体験させてあげればと思います。
- ・特にない。

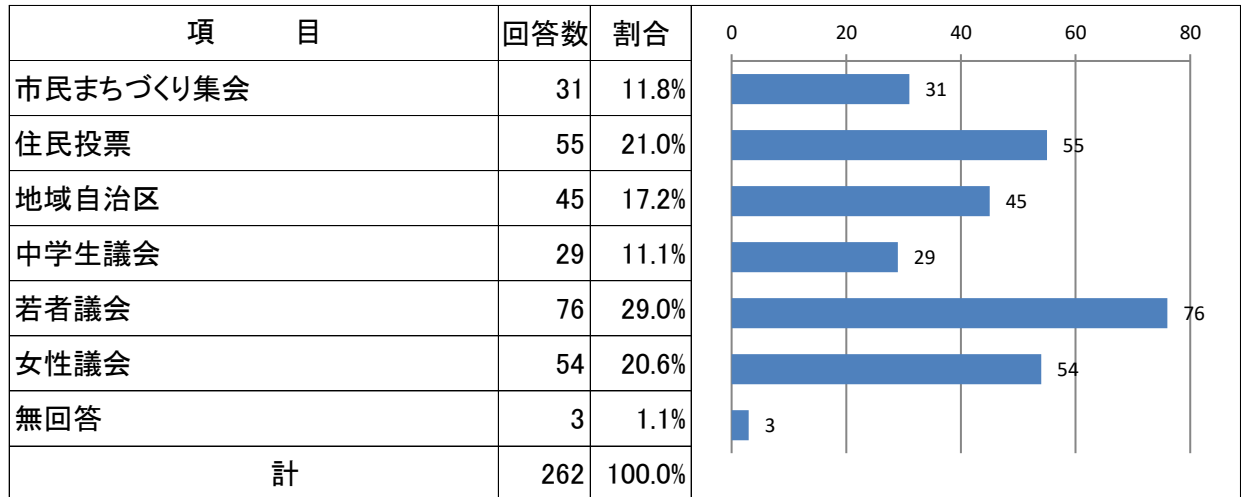
- ・活動状況をもっと広報(PR)しないと、どのような成果が出ているか、周知されていないと思います。
 - ・私は50年前に青年団の経験がありますが、若者議会は現代の青年団ではないかと注目しています。青年団の年齢制限は24歳でした。
 - ・一つだけ掘り下げて説明してほしい。
 - ・もっとPRして、市民の理解を高める。
 - ・? – 不回答 –
 - ・若者議会条例を知りたい。地域(地区)でバランスの取れた人選をするよう。
 - ・現状通りブログ、広報等での情報発信を継続していく。
 - ・若者議会関係者が市の重要なポジションになって、若者議会のプラス面を発言する。(ex竹下議員等)
 - ・若者議員と市議会議員とのパネルディスカッションを行う市議の講演会の中の1部分という形が良いと思う。
- 若者議会にマイナスイメージを持つ理由の1つは、「若いやつが金を無駄にしている」と考えるからである。このように考える人は、若者議会の活動より自らの考える政策の方が良いと思っているので、市政に対して興味のある方である。そういった方は、市議の講演会に集まりやすいので、そこで議員の優秀さを示せば若者議会への否定的な考えが変わると考える。
- ・どういことをやって、それがどういう効果があったのかを、具体的に、共感できるように説明してもらえたらいいと思います。
 - ・若者議会がそこまで必要だ、とされる必要があるでしょうか？成人済み、社会人経験者の集まりならばそこに伴う責任や重責に対応する必要があり、役割が強くなると思いますが、未成年、学生の方もいる議会ですよ？軽く見ているわけではないですが、若者議会があつて助かるね、ぐらいの立ち位置でいいのではないのでしょうか？いろんなアイデアを出して、若い世代の目線を取り入れやすくしてくれる、という形でも。みなさん学生や本業の仕事のかたわらで行っていると思うので、若い世代のNew Cityに対する意見やアイデアをメインに出していただくだけでも十分ではないかと思ひます。
 - ・もっと内容を報告する場があるといいと思う。
 - ・これまでの実績を知る機会が少ないのでは？
 - ・宣伝が必要。でも、各家庭にチラシを配っても見ないこともあると思う。口コミで広めて、気軽に参加できるんだよと体験してもらおうとか。市の情報って市役所関係の人どまりで、意外と市全体に広まっていなくてあると思う。
 - ・若者の意見で、どんどん市がわかりやすく変わっていくといいですね。
 - ・若者議会に限らず、広報をもう少し上手くやって欲しい。
 - ・若者議会はNew Cityに必要なと言ひ続ける。
 - ・他県や他市にもアピールし、見本となるような若者議会を作り実際にその意見をたくさん取り入れて、若者が住みたくなるようなまちづくりをし、リターンする若者が増えて行けば良いかと思ひます。
 - ・New Cityを良くしようとする考えや力が必要。
 - ・これからの市を背負っていくのは若者。若者の意見を吸収しなければ今後の市の先行きは暗い。正直なところ年配の方々は暖かく見守る姿勢の方がいいと思ひます。
 - ・「ほのか」に若者議会のページを作るなどで認知度はある程度できてきたのではないかと思ひますが、それに伴ひ今後は結果を求められるはずですので、それをきちんとサポートして前の図書館改革の時の様に我々に知らせアピールしてほしい。やっていることに関して報告がなければ市民にはうまく伝わりません。
- また若者議会提案が若者議会予算内での活動ではなく一般予算で市議会審議にかかるような大きな事業の立案をさせ成功に導かせることができれば「若者議会はNew Cityに必要な」と思ひただけるのではないのでしょうか。きつい言い方をしますが、逆に若者議会をやろうと言ひ出した大人はそのぐらいの気概がなければ、「ごっこ」だったらやめてもいいと思ひます。
- ・若者が考え、この地に残り住み続けていくその中で、もっと若者の力を求めている地域を手助けしどうしたら、この地が暮らしやすく、子どもからお年寄りまで暮らして行けるか力を出してほしいものです。今この地で若者が何が出来るか、市民が何を望んでいるか議論し、市内をまずは出向いてみてください。

テーマ3 市民が主役のまちづくりについて

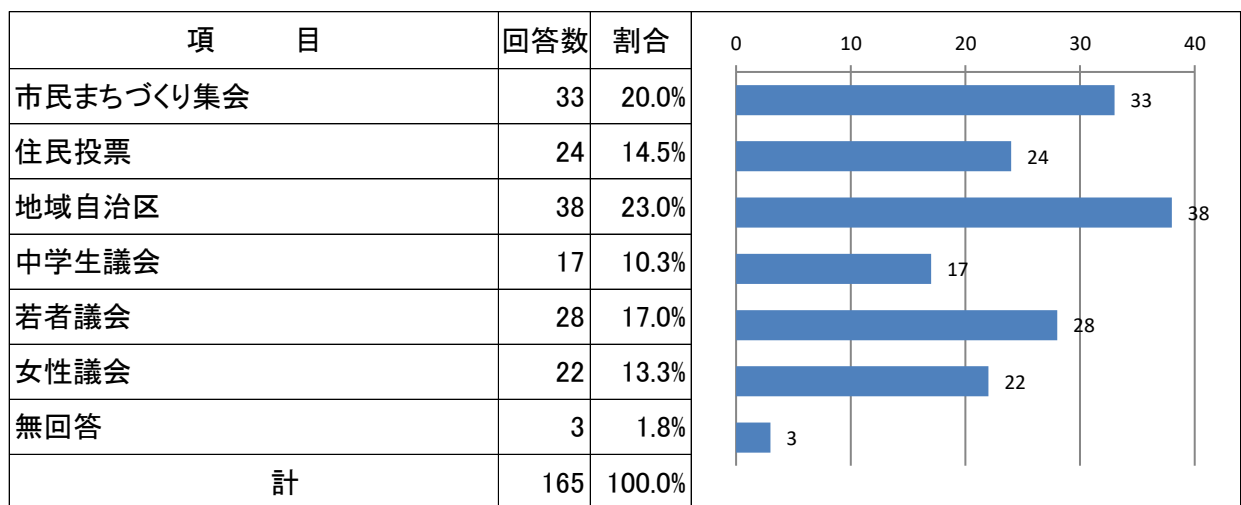
まちづくりのルールブックといわれる「新城市自治基本条例」が、平成25年4月1日に施行され5年が経過しました。この間、「新城市自治基本条例」に関連して、市民まちづくり集会、中学生議会、若者議会、女性議会等を開催し、市民の方々が参加されてきました。このことについてお聞きます。

Q1 新城市自治基本条例 第6章 参加の仕組みの中で、「市は、市民の多様な参加の機会を設けること」を定めています。

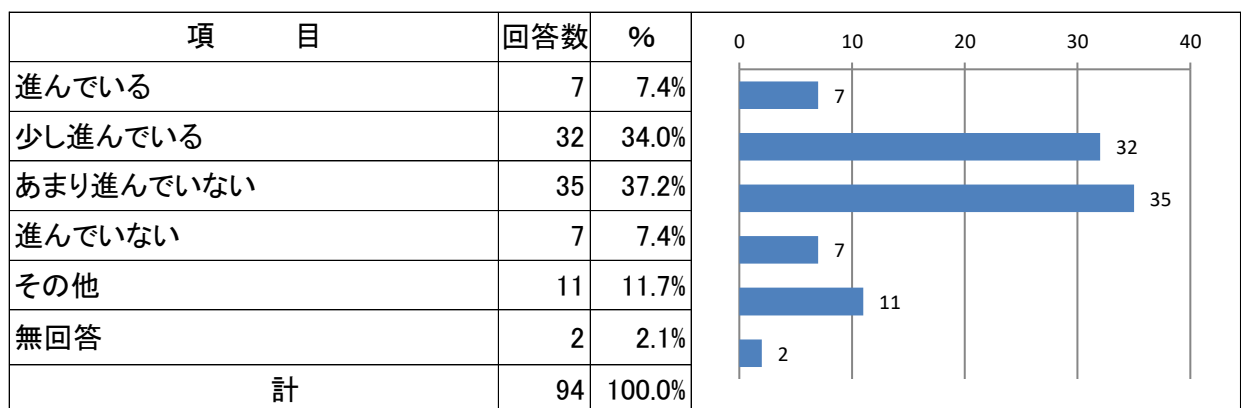
次のうち、あなたが知っているものを選んでください。(複数回答可)



Q2 次のうち、あなたが関心のあるものを選んでください。(複数回答可)



Q3 自治基本条例施行後6年が経過し、市民まちづくり集会、若者議会、中学生議会、女性議会等を開催してきました。条例施行後、市政への市民参加は進んでいると思いますか？(1つ選択)



【その他】

- ・知らない。
- ・よくわからない。
- ・不明
- ・わからない
- ・わかりません。
- ・どういった状態ならば市政への市民参加が進んでいると判断できるか質問の意図が理解できない。

Q4 その理由をお聞かせください。(自由記述)

- ・若者議会への参加呼びかけを積極的にしていると思う。
- ・市民参加が進んでいると思ったことがない。よくわからない。
- ・周りの人から議会等に参加したと聞いたことがない。
- ・自分の周りで参加している人が見当たらないため。
- ・一度、ニューキャッスルアライアンス会議を見に行きました。この会議を継続できているのは、市民の意欲があると思えた。
- ・あまり身近で参加している人がいないため。
- ・6年以上前を、私は知りません。
- ・名前しか知らないし、6年前からやっていることは初めて知ったから。
- ・私自身は関心があったり参加したりしている立場なので、「進んでいる」と感じますし、周りの人もそのような人が多くなるので、前に進んでいるという意識が生まれます。正直、全体で見たとき、年齢ごと、また、地域ごとではどうなのでしょう…？わからないです。
- ・昔より、何か暮らしにくさを感じる。市議会議員とかこういう議会の委員に、地元の人がないからか、いろいろな現状が市政に届いていないと思います。
- ・進んでいるかどうかすらわからない。
- ・進んでいない。変わったと思わない。悪循環。“議会”が増えるばかりで“いじめ”と感じられる。「子どもだけだよねえ～」の様(主役が)
- ・自分がほぼわからないから。
- ・本当に必要な議会か、何なのか、何をしているのか、多すぎてよくわからない。
- ・若者議会も何度か目にするうち、内容も少しずつわかるようになってきたから。
- ・転居してきて、まだ日が浅いから。(1年少し)
- ・自分の暮らしの中で、恩恵を受けている実感がない。
- ・知らない議会ばかりだった。いつ開催されていたのかも、何も知らなかった。
- ・友人との会話の中に、時々出てくる。
- ・実感がない。
- ・条例を知らない人が多く、また、関心のない人も多い。
- ・たくさんの集会・議会があるのに、何をしているか知らない。
- ・一部の人だけで、市全体としてはあまり知られていない。
- ・参加された方がいるというところでは進んでいると思いますが、そうではない方も多数いるので。
- ・普段の会話に出ないから、みんな無関心だと思う。
- ・市民の意見が反映されていないから。
- ・それぞれの会に関わった方から、またそのつながりで参加されたり、参加はできなくてもその会を意識的に見たり(広報やティーズで)して、ジワジワと広がっていると思うから。
- ・関心のない人に実感がないから、あまり進んでないと思います。
- ・若者や女性が市政に参加する場が増えていて、一部とはいえ意見が市政に届いていると思うので。
- ・生活の中で実感があまりないから。

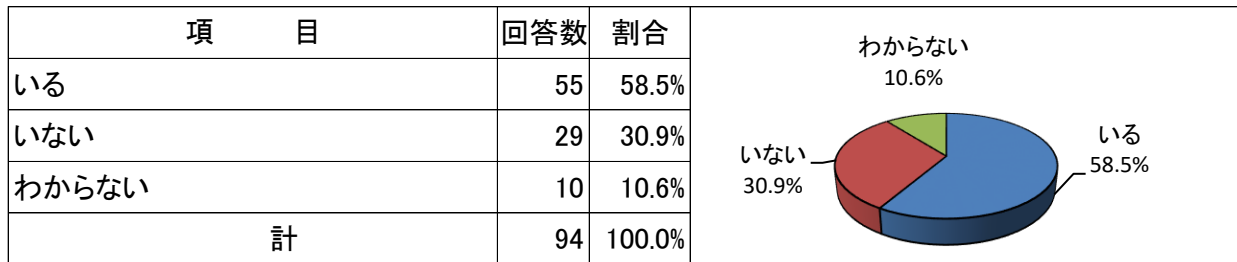
- ・若者議会は目立つので活動は知っているが、他のものはよく知らない。
- ・参加しているのが、ごく一部のの人たちに限られているように思われる。もう少し広く市民に知られるようにした方が良い。
- ・わからない。
- ・友人、知人が会議に出席し、内容を話しているのを聞くと、興味のなかった自分も、少し目を向けるようになったから。
- ・何をやっているかわからないので、答えることができない。関心がない。
- ・進んでいれば、自分の目や耳に情報が入ってきているはずだが、私はあまり知らないから進んでいないのでは。
- ・情報が少ない気がします。
- ・内容を全く知らないから。
- ・私の周りでは、あまりそのような方を見かけませんので。
- ・私の周りでは、「市民が主役になっている」と実感できることはありません。近くの中学生も若者も女性も、参加しているという人は一人もいません。広報などで見かける方は、ほんの一部の人たちではないのでしょうか？
- ・条例が施行され、一部の市民ではあると思いますが参加している。
- ・市政に関心を持つ方が増えてきているように思います。
- ・広報しんしろほのか等配布されているから。
- ・色々な議会の関連記事が、広報や新聞等に継続的に取り上げられて、それが数年間途切れず続いているのは、少しずつにしても参加が進んでいると思います。
- ・地域自治区の活動に、ボランティアとして参加させていただいていますが、活動によっては、まだ、正しい理解を地域の方々全員しているかという、していないような声を耳にします。でも、区が少しずつ住みやすくなったことは確かです。
- ・私のように、関心のない人間が多いからだと思います。
- ・各地区での定例会(常会)等で話題すら出たことがない、聞いたことがないからです。
- ・誰が何に参加したのか、見えてこない。広報紙等で報告し、研究結果を公開していただきたい。
- ・範囲が広すぎるので、ある程度のブロックにすれば、関心ができるのでは？
- ・知らせる事、効果が少ないように思われる。
- ・まだまだ、市民に理解されていない。市民の多くが関心を持つような、働きが必要と思う。
- ・まだ、大衆の人々にPRが不足しているように思われる。
- ・私が挙げた制度のお陰で市政参加したから。
- ・市がこのように取り組まなければ参加する機会が少ない若者、中学生、女性を、主役にする事で、参加者が増えたと思います。
- ・引っ越してきたのが2年前くらいからなので6年前とは比べられないです。
- ・変化が分からないから。
- ・若者、中学生、女性。と聞くとあまり市政とつながりが感じられないのでそういうくくりで議会があると市民参加できていると感じます。
- ・やはり、そういうのに参加する人は、一部の同じ人だから。
- ・進んでいる様に感じないから。周りで話題に上がらないから。
- ・議会の内容がしっかりと市民に伝わってなく、取り組み自体も把握できていない市民が多いように感じ、市民参加は進んでいないと捉える。
- ・広報を見る限り、良く出てるから。
- ・区の集まりに出ることが増え、その中でも話題になることがあるので。
- ・多くの人に役員をやってもらい市政について業務を知ってもらうという意味ならばそういったポジションを用意した分だけ知った人は増えたと思うが、自分が役員など当事者の場合は積極的に関与していても、当事者から外れるとそれまでの活動に関与しなくなる事が多く、それが本来の市政への市民参加なのか疑問。
- ・個々の進捗が見受けられる。
- ・市長、市議会議員はもちろんのこと、男女を問わず色々な世代から意見徴収する事は、大変重要に思われる。

テーマ4 地域包括ケアシステムについて

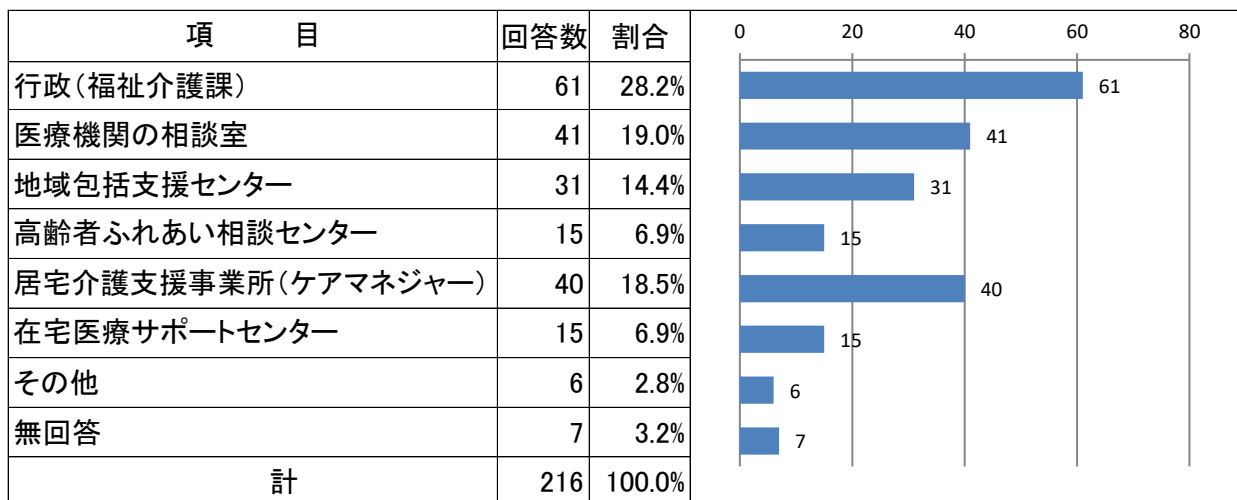
新都市の高齢化率はすでに30%を超えています。団塊の世代が75歳以上になる頃には、更に高齢化率が上がることが予想されます。このため、2025年を目途に介護が必要な状態となっても、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けること」ができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現するための取組を進めています。

Q1 あなたは、病気になったとき何でも相談でき信頼できる「かかりつけ医※」はいますか。

※かかりつけ医とは…予防も含め普段から気軽に何でも相談でき、必要な時には専門医や専門の医療機関を紹介するなど、頼りになる医師。



Q2 医療や介護が必要となったとき、相談できる様々な機関がありますが、ご存知ですか。（複数回答可）

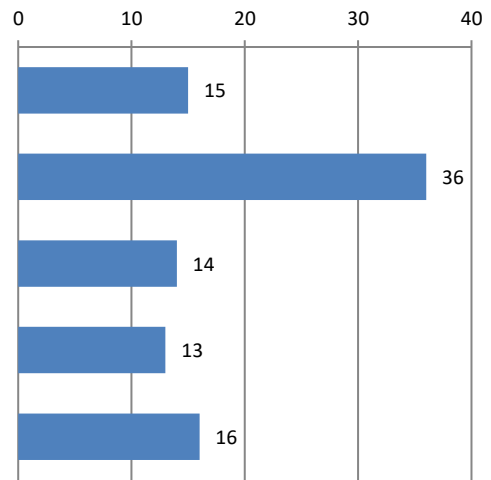


【その他】

- ・知りません。
- ・よくわからない。センター必要ない。相談に乗ってくれない。ある事すら知らない。
- ・不必要。
- ・いままで特に意識したことがなかったため知りませんでした。

Q3 高齢になって、通院や買い物などの不便があっても住み慣れた地域に住みつづけたいと思いますか。または、不便さを解消するため、利便性の高い地域へ転居・転出をしたいと思いますか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
買い物や病院、公的機関などが近くにある便利な地域へ転居・転出したい	15	16.0%
身体が動けるうちは、不便でも住み慣れた地域で暮らしたい	36	38.3%
身体が不自由になっても、何かしらの支援や介護を受けながら地域で暮らしたい	14	14.9%
何かしらの支援や介護が必要になってきたら、買い物や病院、公的機関が近くにある便利な地域へ転居・転出したい	13	13.8%
どちらとも言えない、わからない	16	17.0%
計	94	100.0%



【理由】

- ・特に考えていない。
- ・住み慣れていることより、利便性の高い方が、自分は重視しているから。
- ・地域に特に関心はなく、家族にあまり負担をかけたくない。
- ・今は仮住まいで、近隣の人との関わりもなく、自分が20代のため、子・孫とのその時の関係も想像できないから。
- ・質問が気に入くない。嫌い。ムカツク。腹立つ。バカにし過ぎ。何が言いたいのか聞きたいのか？
- ・それなりに愛着はあるが、さすがに動けなくなったら不便。
- ・現在住んでいる地区は、比較的近くに病院、公的機関があるため、不便さを感じていない。
- ・やはり運転できなくなったら子ども達に迷惑はかけたくないから、便利な地域へ行きたいが、結局お金がなければ住めない。この先心配だ。
- ・現実になってみないとわからない。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・一人では転居も難しいから。お金もかかる。
- ・今住んでいる土地や人々が好きなので、この地域で暮らしたい。
- ・私は買い物、病院、公的機関などが近くにある、便利な地域に住んでいるのでわかりません。
- ・自分らしく生きたい。
- ・動けて(一人で外出ができる)いるうちはこのまま暮らしたいが、動けなくなった時に便利な所への転居は、現実的に難しい。不安に思いながら過ごしている。
- ・買い物の不便さ等は将来オンラインショッピングで解決されると思うから。できる限り住み慣れた地域で暮らしたいが、それが不可能になったら転出する予定。
- ・交通や買い物が便利な都会に住みたいと思いますが、経済的な不安があるためです。
- ・年を取ったら環境への適応能力が下がります。支援や介護が必要な精神的に安定していなような時にはさらに別の環境で過ごせる自信がないからです。
- ・車に乗れなくなったらなにもできないので住み慣れていてもすみ続けることが困難。
- ・その時の家族の状況によると思います。
- ・子どもと同居することがない場合、高齢者のみでの生活は便利な地域でないと暮らせない。特に病院。実際親は聖隷病院まで1時間かけて定期的に通っている。元気なうちしか通えないと思う。
- ・介護を受けるような状態でなければ、そのまま家で普通に過ごしたい。
- ・まだ、住み始めたばかりなのでわからない。

- ・その時にならないとわからないし、テクノロジーが進んで不便さが解消されている可能性が高いので、考える必要はあまり無いと思っている。
- ・これからの高齢化社会で子供のいない世帯では支援、介護が必要になった場合に不便のあるところではサポートが見込めない為。またサポートしてもらう為にはそれなりの支出が必要になる為。
- ・やはり、車など足が無いと無理だから。
- ・住み慣れた土地の方が良い。
- ・自動車運転免許の返納など将来を見据えた場合必要なことだと思いますが、今までいい関係を築けていたご近所さんと離れ新しい人間関係を築くのはしんどい気もします。
- ・将来一人暮らしになったとき車に乗ることが困難の状況になったら、現在いるところからは自転車で駅まで一時間かかるし、買い物をするのにも同じく自転車で一時間かかるので、普段の生活に困るため。
- ・近い将来の部分で自分自身の高齢がやってくるが、周りの環境変化がどのようになるか想像できない。
- ・住み慣れたところが気持ちが落ち着く。
- ・この地をこよなく愛しているから。

Q4 あなたや家族が認知症になったとき、住み慣れた地域(自宅)で暮らしていくには、何が重要だと思いますか。(複数回答可)

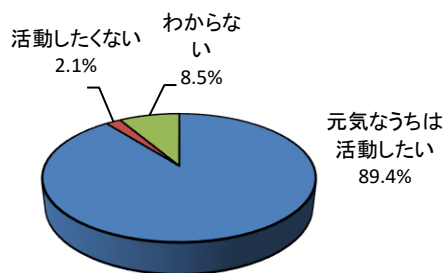
項目	回答数	割合
認知症の専門相談窓口	51	17.4%
地域の人への認知症の人に対する理解	46	15.7%
認知症専門の医療機関、サポート医療機関など	46	15.7%
家族の精神的負担を減らすためのレスパイトサービス(ショートステイ、認知症デイサービスなど)	78	26.6%
認知症を予防するための取組(予防体操の普及、知識や理解を促進)	33	11.3%
認知症サポーターの養成と活動できる場づくり	34	11.6%
その他	5	1.7%
計	293	100.0%

【その他】

- ・資金援助。
- ・お金！！世の中お金！！
- ・専門的な医者などから話を聞くのが一番安心できると思ったからです。
- ・地域の人への理解だけでなく、介護者自身も地域の人と関わって介護ストレスを共有できる場作り。
- ・医療の進歩やテクノロジーで解消出来ると思っているので考えていない。

Q5 高齢者になったときや退職後のシニアライフを過ごすとき、これまで培った自分の技術や知識、経験などを活かせる場があるとしたら、何かしらの活動(働くなど)をしたいと思いますか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
元気なうちは、活動(働くなど)したい	84	89.4%
活動(働くなど)したくない	2	2.1%
わからない	8	8.5%
計	94	100.0%



Q6 お住まいの地域によって、買い物や通院など不便さや地域の実情が異なります。行政が地域のニーズや声を聞くには、地域へ出向き、出前講座や情報交換などを行うべきだと思いますか。(1つ選択)

項目	回答数	%
もっと地域へ出向き、行っていくべきだと思う	66	70.2%
今のままで十分良いと思う	11	11.7%
わからない	17	18.1%
計	94	100.0%

